

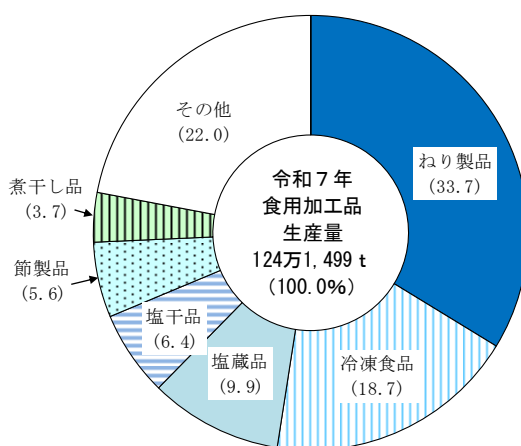
【調査結果の概要】

令和7年の食用加工品の生産量（焼・味付のりを除く。以下同じ。）は124万1,499 tで、前年に比べ3%減少した。

主な加工種類別にみると、ねり製品は41万8,747 t、節製品は6万9,614 t、煮干し品は4万5,580 tで、前年に比べそれぞれ3%、1%、4%増加した。一方、冷凍食品は23万2,751 t、塩蔵品は12万2,503 t、塩干品は7万8,936 tで、前年に比べそれぞれ8%、6%、12%減少した。

生鮮冷凍水産物の生産量は85万1,118 tで、前年に比べ4%減少した。

図1 食用加工品生産量の主要加工種類別構成割合（全国）



注：表示単位未満を四捨五入しているため合計値と内訳の計が一致しない場合がある（以下同じ。）。

表1 主要加工種類別食用加工品及び生鮮冷凍水産物の生産量（全国）

区 分	単位	令和6年	7	対前年差	対前年比
食 用 加 工 品	t	1,285,605	1,241,499	△ 44,106	97
うちねり製品	〃	408,262	418,747	10,485	103
冷凍食品	〃	251,715	232,751	△ 18,964	92
塩蔵品	〃	130,574	122,503	△ 8,071	94
塩干品	〃	89,579	78,936	△ 10,643	88
節製品	〃	68,638	69,614	976	101
煮干し品	〃	43,982	45,580	1,598	104
焼・味付のり	千枚	6,121,041	5,914,783	△ 206,258	97
生鮮冷凍水産物	t	885,721	851,118	△ 34,603	96

- 加工種類とは、製造方法や保存方法により水産加工品を分類したものである。
なお、水産加工品とは、水産動植物を主原料（原料割合で50%以上）として製造された、食用加工品及び生鮮冷凍水産物をいう。
- 食用加工品の計には焼・味付のりは含まれていない。

【調査結果】

1 食用加工品の主な品目別生産量

(1) ねり製品

ねり製品の生産量は41万8,747 tで、前年に比べ3%増加した。

品目別にみると、かまぼこ類は36万1,691 t、魚肉ハム・ソーセージ類は5万7,056 tで、前年に比べそれぞれ1%、14%増加した。

図2 ねり製品生産量の品目別構成割合（全国）

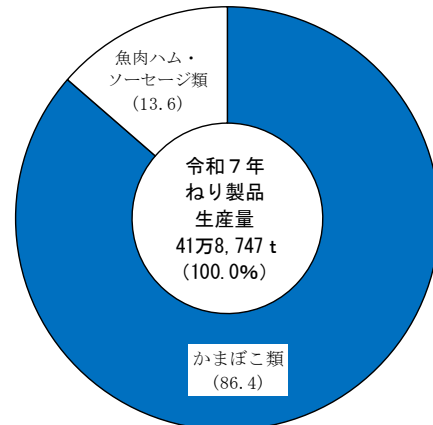


表2 ねり製品の品目別生産量（全国）

区 分	令和6年	7	対前年差	対前年比
	t	t	t	%
ねり製品	408,262	418,747	10,485	103
かまぼこ類	358,146	361,691	3,545	101
魚肉ハム・ソーセージ類	50,116	57,056	6,940	114

(2) 冷凍食品

冷凍食品の生産量は23万2,751 tで、前年に比べ8%減少した。

品目別にみると、魚介類（切り身、むきえび等の加工品）は13万3,491 t、水産物調理食品は9万9,260 tで、前年に比べそれぞれ4%、12%減少した。

図3 冷凍食品生産量の品目別構成割合（全国）

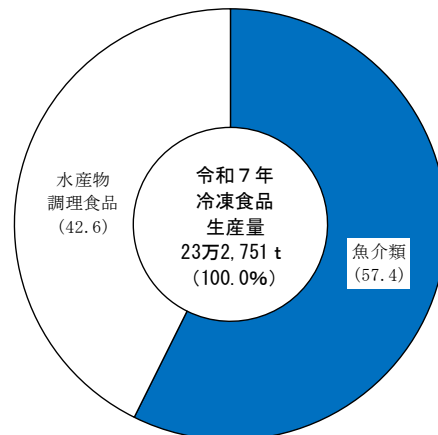


表3 冷凍食品の品目別生産量（全国）

区 分	令和6年	7	対前年差	対前年比
	t	t	t	%
冷凍食品	251,715	232,751	△ 18,964	92
魚介類	139,445	133,491	△ 5,954	96
水産物調理食品	112,270	99,260	△ 13,010	88

(3) 塩蔵品

塩蔵品の生産量は12万2,503 tで、前年に比べ6%減少した。

主な品目別にみると、さけ・ますは7万2,534 t、さばは1万6,500 t、たら・すけとうだらは2,606 tで、前年に比べそれぞれ5%、16%、14%減少した。

図4 塩蔵品生産量の主要品目別構成割合（全国）

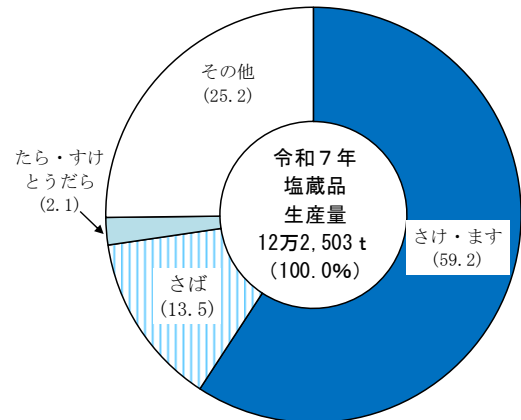


表4 塩蔵品の主要品目別生産量（全国）

区 分	令和6年	7	対前年差	対前年比
	t	t	t	%
塩 蔵 品	130,574	122,503	△ 8,071	94
うち さ け ・ ま す	76,565	72,534	△ 4,031	95
さ ば	19,618	16,500	△ 3,118	84
たら・すけとうだら	3,044	2,606	△ 438	86

(4) 塩干品

塩干品の生産量は7万8,936 tで、前年に比べ12%減少した。

主な品目別にみると、ほっけは3万963 t、あじは1万5,319 t、さばは7,713 t、いわしは6,218 t、かれいは2,490 tで、前年に比べそれぞれ3%、8%、19%、15%、22%減少した。

図5 塩干品生産量の主要品目別構成割合（全国）

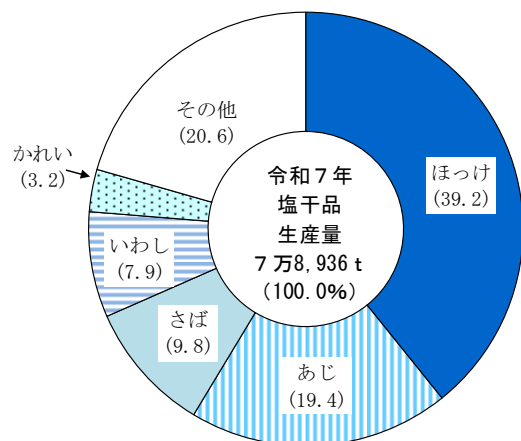


表5 塩干品の主要品目別生産量（全国）

区 分	令和6年	7	対前年差	対前年比
	t	t	t	%
塩 干 品	89,579	78,936	△ 10,643	88
うち ほ っ け	31,865	30,963	△ 902	97
あ じ	16,659	15,319	△ 1,340	92
さ ば	9,469	7,713	△ 1,756	81
い わ し	7,276	6,218	△ 1,058	85
か れ い	3,212	2,490	△ 722	78

2 生鮮冷凍水産物

生鮮冷凍水産物の生産量は85万1,118 tで、前年に比べ4 %減少した。

主な品目別にみると、いわし類は36万3,960 t、まぐろ類は2万6,760 tで、前年に比べそれぞれ8 %、120%増加した。さば類は16万5,733 t、ほたてがいは4万9,687 t、さけ・ます類は3万3,083 tで、前年に比べそれぞれ3 %、27%、30%減少した。

図6 生鮮冷凍水産物生産量の主要品目別構成割合（全国）

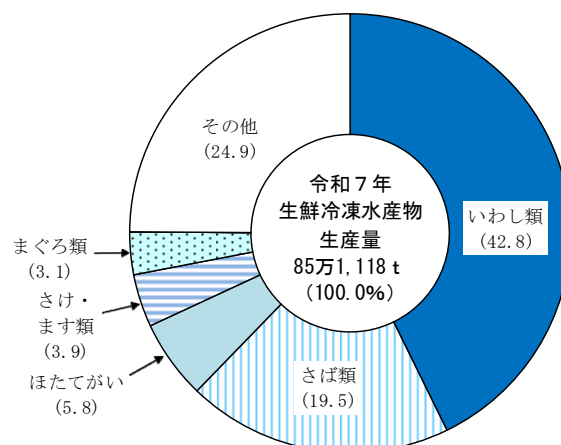


表6 生鮮冷凍水産物の主要品目別生産量（全国）

区 分	令和6年	7	対前年差	対前年比
	t	t	t	%
生 鮮 冷 凍 水 産 物	885,721	851,118	△ 34,603	96
うち い わ し 類	338,364	363,960	25,596	108
さ ば 類	170,434	165,733	△ 4,701	97
ほ た て が い	68,240	49,687	△ 18,553	73
さ け ・ ま す 類	47,417	33,083	△ 14,334	70
ま ぐ ろ 類	12,178	26,760	14,582	220